



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月27日

上場会社名 株式会社 キトー

上場取引所 東

コード番号 6409 URL <https://kito.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鬼頭 芳雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務管理本部長 (氏名) 遅澤 茂樹

TEL 03 - 5908 - 0161

四半期報告書提出予定日 2022年10月28日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	35,859	26.7	2,652	7.9	3,196	32.5	2,156	28.5
2022年3月期第2四半期	28,293	28.4	2,459	97.1	2,412	98.8	1,678	905.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 6,164百万円 (161.2%) 2022年3月期第2四半期 2,360百万円 (896.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	104.78	104.47
2022年3月期第2四半期	81.71	81.53

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	82,681	42,694	50.1
2022年3月期	72,490	37,047	49.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 41,408百万円 2022年3月期 35,869百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		22.00		22.00	44.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,000	23.2	7,000	13.2	7,100	10.7	5,000	9.6	242.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	21,048,200 株	2022年3月期	21,048,200 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	470,181 株	2022年3月期	470,181 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	20,579,652 株	2022年3月期2Q	20,539,888 株

(注)2023年3月期2Q期末自己株式数には、ストック・オプション制度に基づいて権利行使されたもので、当第2四半期会計期間末現在において名義書換未了により当社名義となっている株式19,600株を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、欧米諸国を中心に堅調な経済活動が継続するも、長期化するロシア、ウクライナ情勢や、原材料コストの高騰、さらには急激な円安など、依然として先行き不透明な状況が続いています。こうした環境下、需要動向は期初想定に沿って推移したものの、円安の進行が業績に好転をもたらす結果となりました。当社グループにおいても部品供給の滞りにより、全ての需要にお応えできていない状況ではありますが、グループ横断的に、サプライチェーンの確保に注力し、増産体制を維持、安定した顧客サービス提供に努めてまいりました。

その結果、売上高は35,859百万円（前年同期比26.7%増）となりました。利益面では、販売価格の見直しや効率的な生産に注力することで、大幅な原材料コストの上昇に対応したことにより、営業利益は2,652百万円（前年同期比7.9%増）となりました。経常利益は為替差益の影響を受け3,196百万円（前年同期比32.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,156百万円（前年同期比28.5%増）となりました。売上高、各段階利益とも過去最高となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。当社グループは、当社及び連結子会社の所在地別セグメント区分で事業活動を展開しております。

セグメントの名称	売上高(前年同期比)	営業損益(前年同期比)
日本	14,963百万円 (20.1%増)	3,657百万円 (28.8%増)
米州	19,603百万円 (47.7%増)	1,252百万円 (298.3%増)
中国	4,623百万円 (7.2%増)	602百万円 (3.5%減)
アジア	1,673百万円 (34.6%増)	178百万円 (161.9%増)
欧州	3,543百万円 (23.3%増)	△117百万円 (前年同期は52百万円の営業損失)
その他	900百万円 (3.5%減)	49百万円 (265.5%増)

## (日本)

国内市場においては、半導体や供給部品の不足による影響から、中小企業を中心に生産が滞るものの、都市部を中心とした建設需要への回復がみられました。輸出については、引き続き、北米や欧州などの需要動向が堅調に推移したことに加え、円安の影響もあり、売上高は14,963百万円（前年同期比20.1%増）、営業利益は3,657百万円（前年同期比28.8%増）となりました。

## (米州)

米国においては、製造業を中心とした投資活動と、インフラ需要が継続した結果、売上高は19,603百万円（前年同期比47.7%増）、営業利益は1,252百万円（前年同期比298.3%増）となりました。サプライチェーン遅延、資材費高騰などが懸念されるものの、輸送手段の確保と、顧客サービスの維持に注力いたしました。

## (中国)

当局による徹底したコロナ対策などの影響により、需要動向に足踏みはあるものの、売上高は4,623百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は602百万円（前年同期比3.5%減）となりました。なお同セグメントは12月決算のため、当四半期は1～6月の結果となっております。

## (アジア)

アジア各国においては、経済活動の制限緩和とともに、需要環境も回復してまいりました。その結果、売上高は1,673百万円（前年同期比34.6%増）、営業利益は178百万円（前年同期比161.9%増）となりました。

(欧州)

需要環境は引き続き堅調に推移するものの、ロシア、ウクライナ問題の影響で資材、エネルギー価格高騰の影響は顕著で、売上高は3,543百万円(前年同期比23.3%増)、利益面では117百万円の営業損失となりました。

(その他)

当セグメントは現在、豪州のみで構成されております。売上高は900百万円(前年同期比3.5%減)、営業利益は49百万円(前年同期比265.5%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は82,681百万円と前連結会計年度末に対し10,190百万円増加いたしました。これは、商品及び製品の増加4,469百万円、有形固定資産のその他(純額)の増加1,856百万円、受取手形及び売掛金の増加1,410百万円等によるものです。

負債合計は39,986百万円と前連結会計年度末に対し4,543百万円増加いたしました。これは、短期借入金の増加3,839百万円、長期借入金の減少1,278百万円、支払手形及び買掛金の増加1,206百万円等によるものです。

純資産合計は42,694百万円と前連結会計年度末に対し5,647百万円増加いたしました。これは、為替換算調整勘定の増加3,725百万円、利益剰余金の増加1,703百万円等によるものです。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は10,243百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,026百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは△292百万円と前年同期比4,028百万円収入減となりました。これは、棚卸資産の増加額が3,520百万円、税金等調整前四半期純利益が3,191百万円となったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは△2,127百万円と前年同期比144百万円支出増となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が1,839百万円、無形固定資産の取得による支出が326百万円となったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは894百万円と前年同期比5,592百万円収入増となりました。これは、短期借入れによる収入が17,307百万円、短期借入金の返済による支出が13,643百万円、長期借入金の返済による支出が2,016百万円となったこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、急激な円安による影響を受け、売上、利益とも期初想定を上回って推移したことから、2022年5月16日に公表いたしました業績予想を変更しております。

詳細は2022年9月22日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,269	10,243
受取手形及び売掛金	13,041	14,451
商品及び製品	15,820	20,289
仕掛品	1,866	2,871
原材料及び貯蔵品	3,824	4,783
その他	1,774	1,585
貸倒引当金	△147	△154
流動資産合計	47,450	54,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,880	6,601
機械装置及び運搬具(純額)	4,486	4,627
その他(純額)	5,354	7,211
有形固定資産合計	15,721	18,440
無形固定資産		
のれん	818	774
その他	3,920	4,515
無形固定資産合計	4,738	5,290
投資その他の資産		
その他	4,580	4,879
投資その他の資産合計	4,580	4,879
固定資産合計	25,039	28,610
資産合計	72,490	82,681

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,528	8,734
賞与引当金	1,041	1,116
その他の引当金	61	59
未払法人税等	1,380	1,415
短期借入金	1,343	5,183
1年内返済予定の長期借入金	3,899	4,082
その他	5,653	5,868
流動負債合計	20,908	26,460
固定負債		
長期借入金	10,437	9,159
退職給付に係る負債	2,384	2,434
その他	1,712	1,932
固定負債合計	14,534	13,526
負債合計	35,442	39,986
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,976	3,976
資本剰余金	5,099	5,112
利益剰余金	24,302	26,006
自己株式	△405	△388
株主資本合計	32,973	34,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	8	60
為替換算調整勘定	2,921	6,646
退職給付に係る調整累計額	△33	△5
その他の包括利益累計額合計	2,895	6,700
新株予約権	57	51
非支配株主持分	1,120	1,235
純資産合計	37,047	42,694
負債純資産合計	72,490	82,681

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	28,293	35,859
売上原価	18,141	23,223
売上総利益	10,151	12,636
販売費及び一般管理費	7,692	9,983
営業利益	2,459	2,652
営業外収益		
受取利息	10	20
為替差益	—	584
受取賃貸料	40	57
助成金収入	34	17
作業くず売却益	37	45
その他	39	41
営業外収益合計	164	768
営業外費用		
支払利息	89	127
為替差損	9	—
保険積立金運用損	5	46
その他	105	51
営業外費用合計	210	225
経常利益	2,412	3,196
特別利益		
固定資産売却益	4	1
受取保険金	219	—
特別利益合計	224	1
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	3	6
訴訟和解金	219	—
特別損失合計	224	6
税金等調整前四半期純利益	2,412	3,191
法人税等	663	969
四半期純利益	1,749	2,222
非支配株主に帰属する四半期純利益	70	66
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,678	2,156

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,749	2,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	16	52
為替換算調整勘定	589	3,862
退職給付に係る調整額	5	27
その他の包括利益合計	611	3,942
四半期包括利益	2,360	6,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,238	5,961
非支配株主に係る四半期包括利益	122	203

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,412	3,191
減価償却費	1,363	1,356
支払利息	89	127
売上債権の増減額(△は増加)	945	183
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,325	△3,520
仕入債務の増減額(△は減少)	1,391	621
固定資産売却損益(△は益)	△2	△1
固定資産除却損	3	6
受取保険金	△219	—
訴訟和解金	219	—
契約負債の増減額(△は減少)	113	423
未払費用の増減額(△は減少)	△730	△524
その他	△56	△467
小計	4,205	1,396
利息及び配当金の受取額	14	25
利息の支払額	△88	△114
法人税等の支払額	△394	△1,599
保険金の受取額	219	—
和解金の支払額	△219	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,736	△292
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,777	△1,839
有形固定資産の売却による収入	6	5
無形固定資産の取得による支出	△194	△326
有形固定資産の除却による支出	0	△4
その他	△18	36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,983	△2,127
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	753	17,307
短期借入金の返済による支出	△7,629	△13,643
長期借入れによる収入	5,800	—
長期借入金の返済による支出	△2,934	△2,016
配当金の支払額	△369	△451
非支配株主への配当金の支払額	△83	△88
リース債務の返済による支出	△172	△223
その他	△63	10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,697	894
現金及び現金同等物に係る換算差額	171	498
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,773	△1,026
現金及び現金同等物の期首残高	13,725	11,269
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,951	10,243

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASC第842号「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間より、米国連結子会社において、ASC第842号「リース」を適用しております。ASC第842号「リース」の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この基準の適用に伴い、当第2四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表において有形固定資産の「その他(純額)」が721百万円、流動負債の「その他」が242百万円及び固定負債の「その他」が486百万円それぞれ増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書への影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	欧州	その他			
売上高									
外部顧客への売上高	6,286	13,240	3,997	1,243	2,590	933	28,293	—	28,293
セグメント間の 内部売上高又は振替高	6,175	30	314	—	282	—	6,802	△6,802	—
計	12,462	13,271	4,311	1,243	2,873	933	35,095	△6,802	28,293
セグメント利益又は損失(△)	2,839	314	624	68	△52	13	3,807	△1,348	2,459

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,348百万円には、セグメント間取引消去△216百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,131百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	米州	中国	アジア	欧州	その他			
売上高									
外部顧客への売上高	6,651	19,563	4,029	1,673	3,041	900	35,859	—	35,859
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8,312	39	593	—	501	—	9,447	△9,447	—
計	14,963	19,603	4,623	1,673	3,543	900	45,307	△9,447	35,859
セグメント利益又は損失(△)	3,657	1,252	602	178	△117	49	5,623	△2,970	2,652

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,970百万円には、セグメント間取引消去△1,389百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,580百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。